２０１９年度　原中学校　グランドデザイン

学校長の願い
- 「生徒も、職員も、家庭も、地域も、『みんな幸せ』になること。
- 「原中学校でよかった」と思えること。

＊よい学校とは、学校を構成する人々の幸せの増大にある。
まずは、生徒・家庭・職員が幸せになる（思える）学校を創ること。そのことを通じて地域に貢献すること。

《目指す生徒の姿》　『看脚下』
- ○弾けるあいさつで心がつながっている生徒
- ○自己を見つめ、他者を敬い、人のために活動（行動）できる生徒。
- ○自ら計画し、粘り強く学び続ける生徒
- ○差別やいじめ、からかいを許さない人権感覚をもち、素直に「ありがとう」が言える生徒。

スチューデント・ファーストの視点から
- 教育活動のすべての判断基準
  「生徒にとってプラスかマイナスか」
  「子どもにとって良いか悪いか」
- 校長の願い、職員の思い、生徒（生徒会）の思い、保護者や地域の期待の融合。学校を構成する人々全ての思いを具体的な「生徒の姿」「学校の姿」で表現する。

自主　連帯　創造　誠実

本年度の重点目標
Hara spirit
- 心をつなぐ　「あいさつ」
- 自分も磨く　「清掃」
- 響き合う　「ありがとう」

生徒指導・生徒理解

①自己肯定感の育成
- やる気と勇気をもってことにあたれる意欲を培う。
- 自分らしさ、自分がいることの価値を尊重する。

②強い体と心の育成
- 自分を鍛える心と実践
- 自分や人を大切にする力

③共感的、受容的な支援
- 背景にあるものを大切に思いや考えを傾聴する。
- 向き合う時間の充実

④生徒会活動の充実
- 挨拶、清掃等日常活動

安心・安全に学びに専心できる環境
- 信頼できる先生、仲間
- 向き合う時間の充実
- 自治活動の充実

行き届いた学習指導
- 主体的、対話的な学び
- 生徒の声が響く授業づくり
- 見とどけや補充の充実

社会や地域との連携
- 原村学を核とした展開
- 人、地域との繋がり
- ボランティア、貢献の思いと行為

開かれた学校・家庭地域との連携

①発信と参画
- 学校便り(年４回),HP による発信
- 保護者アンケート、学校評議員会

②行事、学習等運営協力
- 原村学への理解と参画
- 強歩大会、もみの木祭、平和学習
- 農業体験、福祉教育
  ボランティア体験、読み聞かせ

③危機管理、安全指導
- 交通安全指導、避難、防災訓練
- 情報教育（ＳＮＳ,モラル,家庭との連携）
- 人権教育、性教育

④原村コミュニティー
- 原村教育研究会(幼保小中連携)
- 原っこ保健・給食委　・民生委
- 青少年健全育成委、部活動運営委

◇学習指導のねらい（目標）

＊○○科における見方、考え方の捉えと学びに向かう力の育成
＊単元を通した学びの捉えと定着の確認
＊必要感に根差し、できた、わかった、楽しいを実感できる授業

学びの質を高める３カ条“主体的・対話的で深い学び”のために
聴く…自ら求めて(主体的)　伝える…筋道立てて、分かるように(対話的)
つなげる…自分と仲間と、既習と新たな問いと(深い学び)

◇具体的な取組

日常授業の充実
生徒の声が響く授業（学び合い）
めりはりのある多様な学習形態
見とどけの工夫と実践の共有

補充学習、教育相談の充実
のびゆく時間の活用
相談タイムの活用
学年会、教科会での共有と運用

核となる単元の設定
意欲や必要感に根差した展開
体験的、探究的な学び⇒表現
横断的な学びの構築

家庭学習への支援
授業と家庭学習の連動
徹底した復習の実践
教科会、学年会での共有と運用

◇授業力・学力の向上の検証と研修
- ○校内公開授業の授業づくりと成果と課題の共有
- ○新学習指導要領「学力の三要素」の研究

◇道徳教育（特別な教科　道徳）
- 対話や議論から多様な考え方を取り込む授業
- 効果的なＴ・Ｔや意識の変容の見える板書の研究
- 学び、深まりの見とりと評価の研究

◇特別活動
- 自己をみつめ、安心して自己を語る集団づくり
- 多様なコミュニケーション活動の創造と推進

◇総合的な学習の時間
- 問いがつながる原村学（キャリア教育）の推進
- 探究的な学び『カリキュラムマネジメント』推進

◇特別支援教育（インクルーシブ教育）
- 個別の指導計画の吟味、作成と評価
- 皆が「できる、わかる」授業づくり・環境整備

◇人権教育・性教育
- 生・性への慈しみの心を育てる指導
- 自己を大切にし、他者を尊ぶ心情と態度の育成
- いじめに気づき、なくそうとする自治活動

◎各種調査分析、生徒・教職員の実態から、強みの一層の強化と課題の克服　⇒　数値を上げる

H30 学力学習状況調査 本校の強み→ （原中　県　全国）	授業や課外活動で地域の人やものと関わった **44%**　31%　31%	家で自分で計画を立てて勉強していますか **20%**　**16%**　17%	本校の課題→	将来の夢や目標をもっていますか **39%**　**44%**　45%

職場環境の充実　（生徒の学びの質を深めるための働き方改革の推進）
- 連携、連絡し合い、教育の分担化を明確にする…学校にしかできないもの、地域に協力をいただくもの、地域・家庭にお任せするもの
- 本当に必要なことを浮き彫りにする…「よい授業をする」「安心・安全を確保する」ための働き方改革を研究・実践する。